

1984・1985年期白鳥調査概報*

今野重郎・岡本俊一・玉田 誠

涛沸湖

秋、10年前までは飛来した白鳥達は沖合いで採餌していくで減多なことでは現在の白鳥公園のあたりには近寄らなかったが、最近は飛来早々泳ぎ寄ってヒトと何等かのかかわり合いをもって生活し、そのまま居座って越冬する鳥も300羽を越えるようになった。特別の年を除けば12月の末頃までには總てが南下してしまい、流氷の接岸・河口の開削・開水面の出現・そして白鳥の飛来といった季節感は消失して白鳥は冬告鳥であることには変わりないが春告鳥ではなくなってしまった。

初認の月日は例年よりやや早めであったが最高羽数に大きな差は見られなかった。幼鳥の比率は'84年期は総数3,497羽の約9パーセント、'85年期は総数3,645羽の約6パーセントで誰の目にも幼鳥の数の少さが感じられた。

春、'84、'85年期共に以前なら集中はこれから加速的に増加する4月の中旬頃に1千7,8百羽のピーク値を残して減少してしまい往時のように3千羽を越える盛況は見られなかった。頭から首にかけて赤褐色の汚れた白鳥が目立ち1985年春には400羽にも達する“はみ出し白鳥”が生じた。^{*}

1986年春にも前年程ではないがそうした“はみだし”が生じた。→[付]

カラーバンドによる標識鳥の確認数は'84年期には7羽であったが'85年期は3羽という凋落ぶりで、春の集中羽数の減少と関係があるのかも知れない。

小湊でI.W.P.B.の代表者会議のもたらされた1980年の春に着標された2C15と、やはり同地で1982年に着標された2C92がどちらも首環を喪失しながらも'85年期も元気な姿を涛沸湖に見せてくれたのは嬉しい限りであった。またガイドナンバー140のメタルリ

ングのみの2羽も3年期連続して帰湖し、内1羽はペアを組み2羽の幼鳥を伴っていた。また'85年期の最大数をカウントした時の涛沸の状況は図示の通りである。

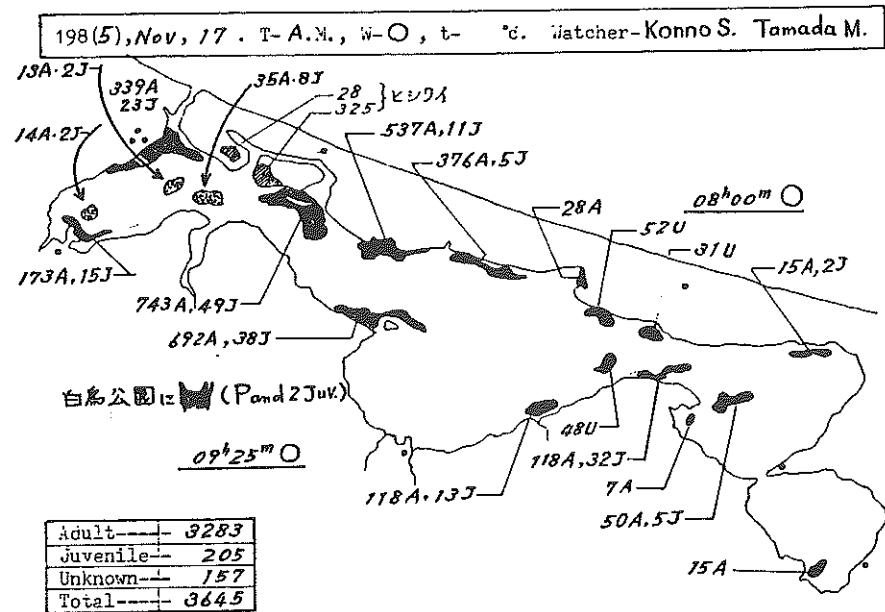


昨年と同じ場所に姿を見せたはみ出し白鳥

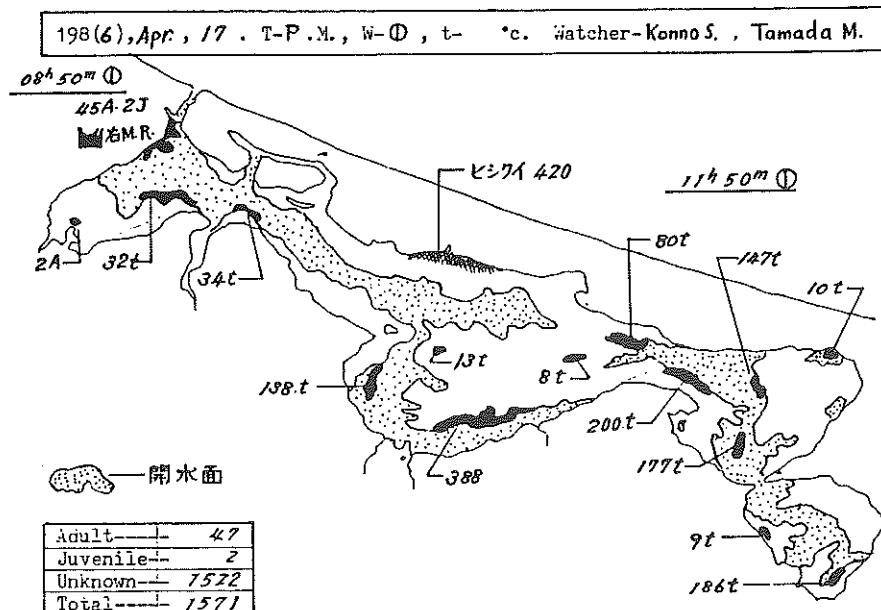
1986年4月13日

* 「年期」とは表示年の秋から翌年春までの期間を指す。

1985 年期 秋の最大羽数 1985 年 11 月 17 日

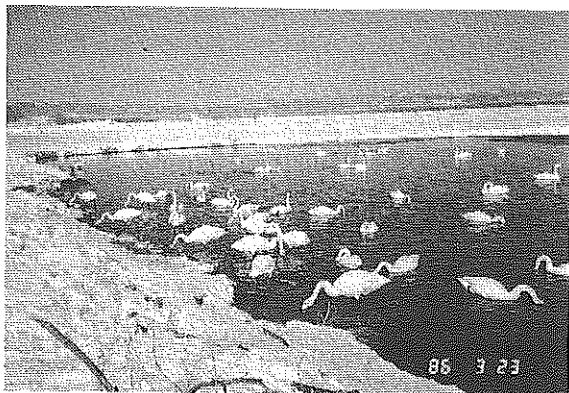


1985 年期 春の最大羽数 1986 年 4 月 17 日



網走湖

網走湖の流出部分（R）とその下手 2 - 3 百メートル付近で越冬する白鳥については 1970 年頃から調査の対象となり、主として中橋康信氏が担当していた。1983 年秋全くの思いつきで同湖を一周しての調査の結果 400 羽を越える主としてオオハクチョウが網走湖を利用していることが判明した。しかしこれ等の鳥が薄沸湖と何等かの関係があるかどうかは不明である。南西隅にあるボントーには特に春先、100 羽単位の白鳥が憩うことは知られていたが、国鉄女満別駅の裏手になる女満別湖畔に姿を見せるようになったのはここ 2、3 年のことである。湖畔の温泉水の流れこむところに 3 月にはいると開水面ができる白鳥が飛来している。'85 年期には秋も小数羽が憩った。ほとんどが頭や首のよごれた鳥であるが '84 年春には 3 C11、3 C23、3 C37 が憩ったばかりでなく、コハクチョウ、コブハクチョウも憩って話題をまいた。1986 年春にも 3 C11 が憩ったが、図の Field と記した所国道 39 号脇に 30 羽がはみ出していた。湖畔の千葉正孝氏の協力を得て調査を続けている。



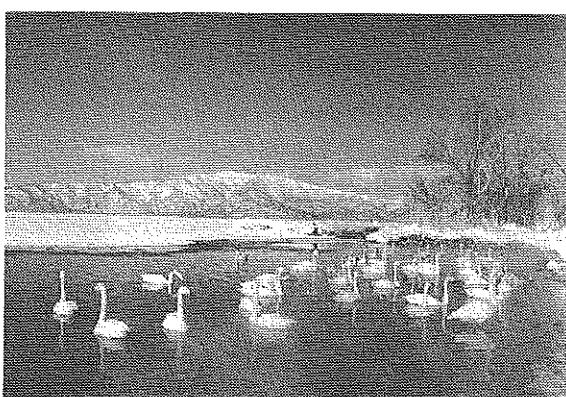
早春の女満別湖畔
1986年3月23日

網走川接続部

網走湖をオホーツク海とつなぐ部分であるが、湖の近くについてはすでに述べた。白鳥が憩う（人の給餌をあてにして）所は刑務所前の鏡橋（K）の下手から網走駅前の新橋（S）の下手の間にある。やや流れがつよく、両岸特に両橋間の国道側が人が岸に近寄り易く、物を与えるから 2 - 30 羽が越冬するようになった。'86 年春には 60 羽を越えたこともあったが、かなりの数の“首よごれ”も憩うようになった。

屈斜路湖

屈斜路湖では川村勇蔵氏が世話をしていた「湖の家」前（B）と中川勝次郎氏が世話をしている「池の湯」（E）と仁伏温泉（A）で越冬するものが大部であったが逐年様変りを見せ、仁伏で越冬するものが増加しただけでなく、「85 年期にはコタン（F）、砂湯（C）で越冬するものが増えた。コタンでは付近の人々が給餌しているが、砂湯では



屈斜路湖 “砂湯” 1986年3月2日

観光客の投餌に起因している。越冬白鳥の絶対数が増加したのではなく、給餌量に困る分散であろうが池の湯の数はほぼ一定しているのは、節操のちがい？か。

弟子屈町市街

市街地を流れる川に憩う白鳥など今日的にはさして奇異な現象ではない。釧路川も上流域のこのあたりでは町中も蛇行しており図に示す範囲には洲もなく流れもかなり急である。J部の両岸は散歩道になっているが冬季は利用されない。短かい区間であるが橋は割合が多く、このことが給餌できる場所が多くなって、白鳥の屯する場所が5箇所もできた理由であろう。1986年にJの字の下手に一寸した土手様のものが川中に施設されたが、白鳥がそこに集中してしまうということもおこらなかった。鎧別橋の下手(M)では他の場所とは異なり岸にまで行けるのでヒトの手から直接採餌する白鳥も出ている。ここでは尾岱沼で着標された3C19が北帰する迄の一時期憩って、この地域の白鳥が屈斜路湖ひいては壽沸湖と往来しているのではないかとの説に水を差したことあった。

まだ当分はこの様な形態で越冬、ヒトとの交りは続くであろう。そして鎧別川の南岸が現在のように開放された形で残され、いつまでも白鳥と遊べるようにあってほしいものである。

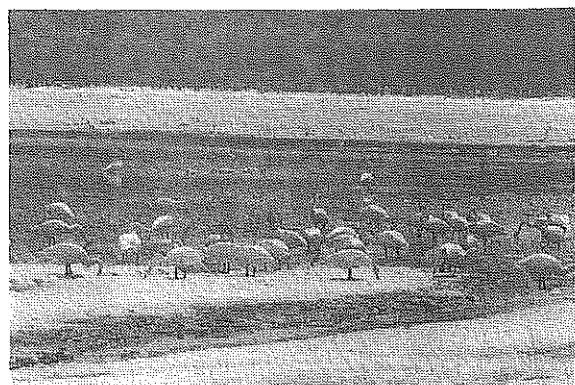


いつまでもこの形態を保ってほしい
鎧別川の川岸
1986年3月2日

佐呂間 湖

栄浦地区に姿を見せる白鳥については1972年代から不定期ながら調査の対象としてきた。ここは春には北上群も混在するが越冬する白鳥が利用していた所である。図中浜佐呂間の(c)のあたりが春最も早く解氷し、数百羽の白鳥が群せいすることを指摘したのは栄浦の黒田敏光氏であり、又(b)のあたりに春に白鳥が憩うのを見たことがあると告げたのは網走の西田博氏であって1981年春からこの方面での調査を強化した。

1982年春、(C)で2C92及び2C95を発見のち(a)のキムアネップで再認、爾来キムアネップ観光センターの高橋久市(故人)氏、八木博氏、後田久子氏の協力を得て調査を充実させている。センター前の干潟は首環を喪失した白



観光センター前 対岸は(b)区域
1986年4月13日

鳥のリサイトには最適であって'85年春2C92、'86年春には1980年2月20日にウトナイ湖で着標された2C20が2C92と共に再確認された。

ここでは秋には白鳥は立寄らないというから局地的ではあるが、秋と春とでは渡りのルートは異なることになる。また(C)や(A)の出現群と同様にほとんどは“首よごれ”が主体である。(c)や(A)からの移動してくる鳥であろう。

能取湖

主として西部域の岸辺北見平和より北部で見られるが1986年春は4月20日に9羽、27日に6羽、5月1日に8羽を見かけたに過ぎず、お目あてのポントーでは1羽も見ることができなかった。

1985年期総括

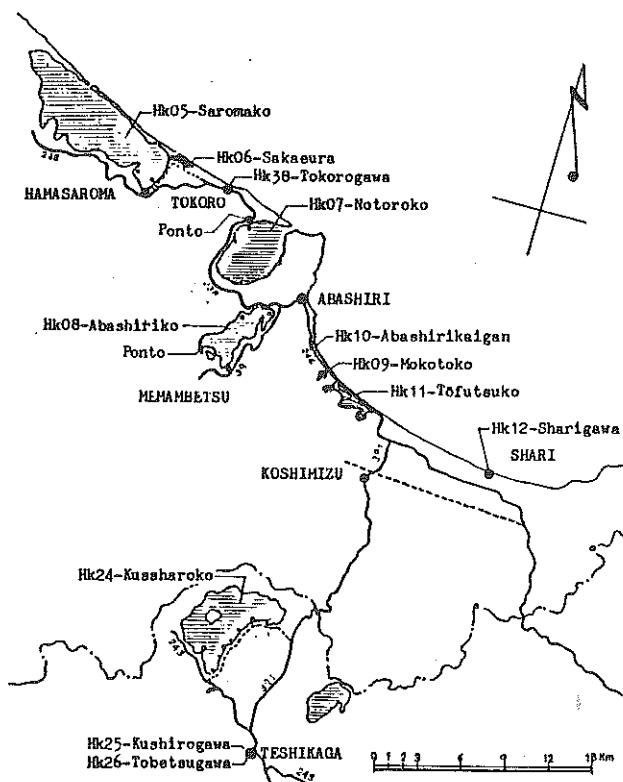
道東域での調査結果の2・3を集計したものを表1として別に示した。

a) 2月17日の段階ではまだ北上群は認められず観察されたものは越冬中のものであって、その数は約800羽である。

b) 3月30日は寿沸湖では北上白鳥が集中する中期の頃で、その数は約2,000羽であり、弟子屈市街内や屈斜路湖の白鳥は半減している。そして総ての湖沼川には“頭よごれ”や“首よごれ”的白鳥が姿を見せ、網走湖や佐呂間湖東部(栄浦や浜佐呂間)に憩う白鳥の大部分がこの汚染白鳥であることに注意する必要がある。

c) 寿沸湖ではすでにピークを越え、藻琴湖や網走川の白鳥も移動してしまっていて、網走湖や佐呂間湖東部では最大羽数を示した。

しかし、この2ヶ所の前回の調査値に対する増加値は寿沸湖の最大羽数値(4月17日の1,571羽)に対する減少値をカバーしきってはいない。即ち600羽程の白鳥は北帰したか、オホーツク海岸の他の湖沼川に移動して憩ったと考えるべきであろう。



調査地域図

調査結果の総括表(1985年期)

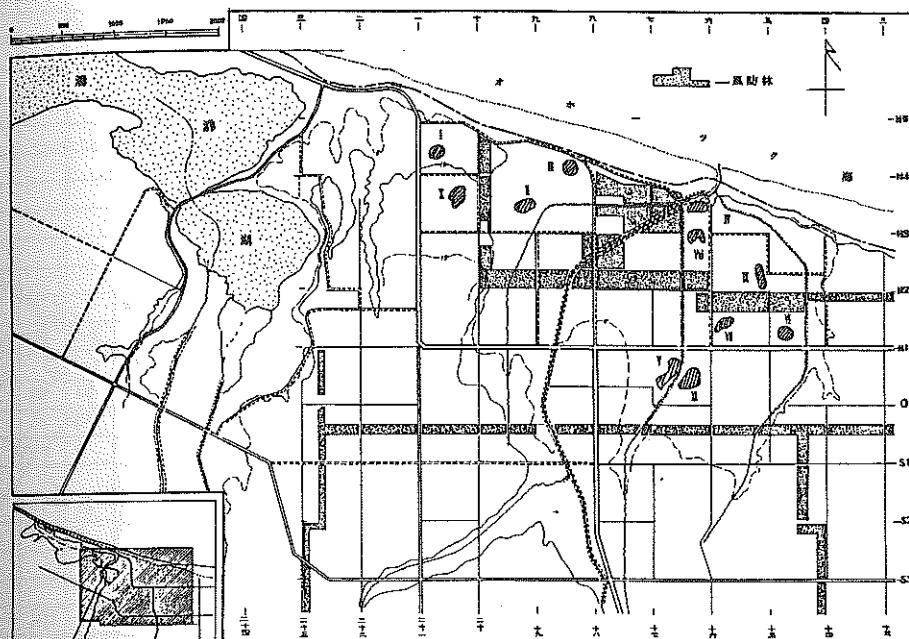
月日 Date	調査地 Location	成鳥 Ad.	幼鳥 Juv.	成幼不明 Uk	計 Total	首よごれ Dirty	備考 Remarks
2月17日	弟子屈市街	106	7	0	113	0	
	屈斜路湖	426	19	0	445	0	
	斜里川	18	4	0	22	0	飛行中のもの3羽
	涛沸湖	162	12	0	174	0	
	藻琴湖	19	3	0	22	0	
	網走川	4	4	0	8	0	
	網走湖	0	0	0	0	0	
	能取湖	•	•	•	•	•	
	栄浦	•	•	•	•	•	
	浜佐呂間	•	•	•	•	•	
(計)		735	49	0	784	0	
3月30日	弟子屈市街	47	6	0	53	16	
	屈斜路湖	244	17	0	261	6	
	斜里川	5	0	0	5	2	3月29日調査
	涛沸湖	815	53	0	868	不明	
	藻琴湖	75	7	0	82	5	MAX.値
	網走川	47	3	0	50	8	
	網走湖	195	23	0	218	110	はみ出し22A・7J
	能取湖	0	0	0	0	0	
	栄浦	215	20	0	235	215	
	浜佐呂間	149	23	0	172	125	
(計)		1,792	152	0	1,944	487	
4月20日	弟子屈市街	•	•	•	•	•	
	屈斜路湖	•	•	•	•	•	
	斜里川	•	•	•	•	•	
	涛沸湖	138	5	809	952	U	はみ出し7A・4J
	藻琴湖	0	0	0	0	0	
	網走川	2	0	0	2	0	
	網走湖	286	24	0	310	295	MAX.値
	能取湖	9	0	0	9	0	
	栄浦	14	0	0	14	0	
	浜佐呂間	447	49	0	496	218	Cy. co.1 MAX.値
(計)		896	78	809	1,783	513	

* 涛沸湖周辺部における“はみ出し白鳥”について

今野・岡本・王田 '85

付 濁沸湖の“はみ出し白鳥”1986について

断片的な調査だが湖面の開水率10パーセント以下、北上数の急増期に当っている。（濁沸湖の最大羽数は4月17日の1,571羽、開水率は約40%）



月・日	別	I	II	III	VI	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	計	
Mar.	S												0	
26	G	180											180	14:43
Apr.	S		105・7	66・3	35・17								206・27	05:15
11	G					211	87						298	06:15
12	S		21・0										21・0	11:30
	G												0	
13	S		17・8				45・4	8・1		12・1			82・14	13:10
	G					458				26			484	13:40
20	S		7・4										7・4	07:30
	G												170	170 07:20
25	S									2・0			2・0	10:40
	G												0	
27	S			0・4									0・4	07:25
	G												0	

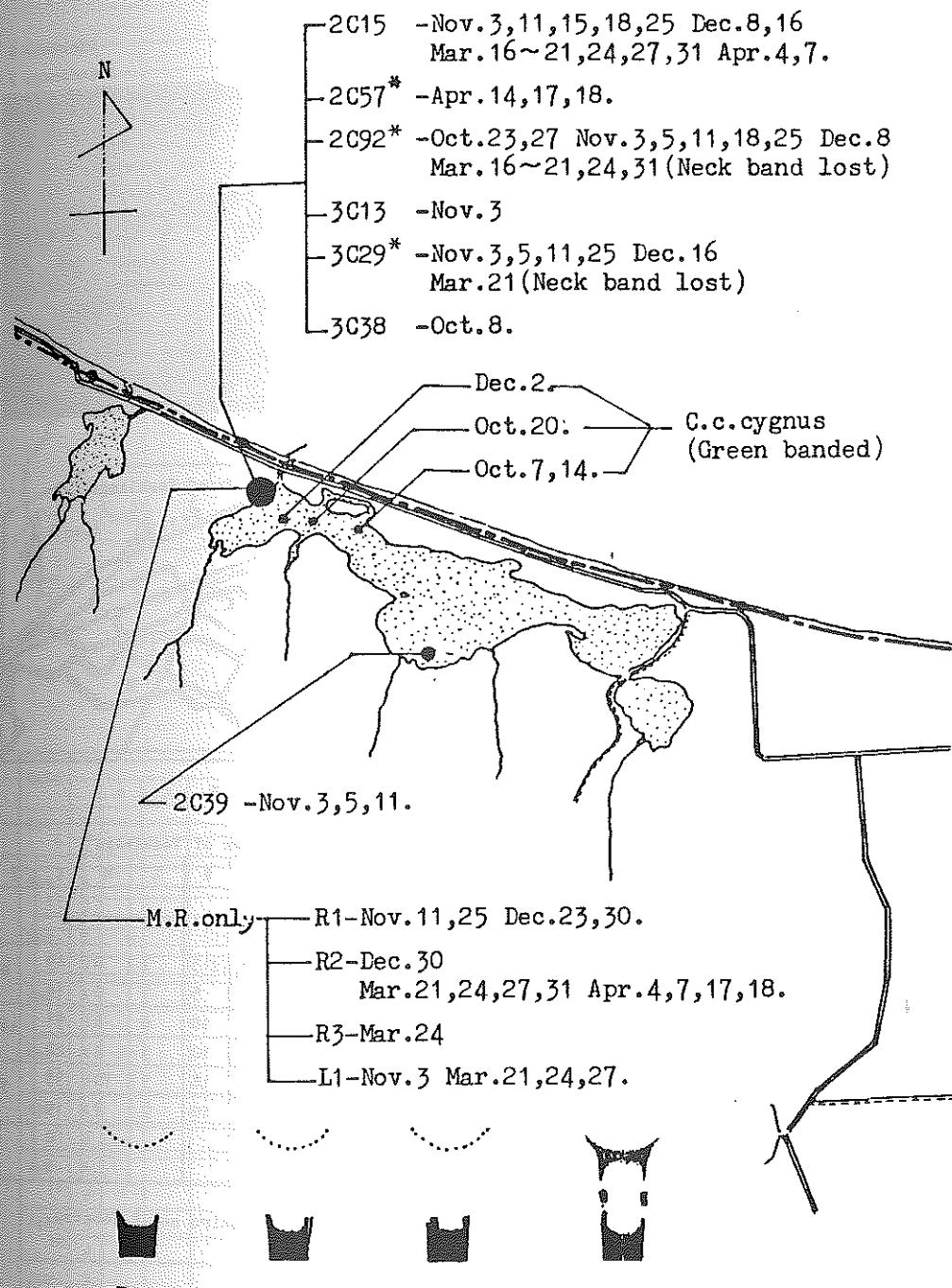
Sは白鳥、Gはガン

・の左は成鳥、右は幼鳥

Number of swans counted at Lake Tofutsu in 1984 Swan's period.

Date				Number			Remarks (Marked swan etc.)	L. Mokoto					
Mo.	Day.	Tim.	We.	Total	Ad.	Juv.	Uk	T	A	J	U		
Sep.	24	08:30	①	5	5	0	0	北東隅 (Mr. Miyatsu)	ヒシタイ 117				
	30			4			4						
Oct.	2	08:50	①	28	28	0	0	ほとんど 2 Y	ヒシタイ 257+30α				
	7	07:30	①	223	201	22	0	" Eにグリン環付 1	" 239+20α				
	8	10:30	○	318	274	44	0	" Fに 3 C38	" 729+α				
	14	09:30	●	223	194	29	0	" Eにグリン環付 1	" 半に 86 半に 132				
	20	14:40	○	1,936	1,328	201	407	他にコハク10Ad., Eにグリーン環付1公園に8A+1J "	387+α				
	25	13:25	①	3,102	618	178	2,306	Eに 2C92 · 公園に25A+3J "	920+α オレンジシンド1				
	27	10:20	①	3,497	3,183	314	0						
Nov.	3	15:20	①	2,867	1,113	211	1,543	2C92、2C15、3C13、3C29、M.R.L	O 6 にグリン環付 1				
	11	11:20	①	3,819	1,449	272	2,098	2C92、2C15、3C29、2C39、M.R右1(うよごれ)ガン	218+α				
	18	13:50	①	2,290	266	19	2,005	2C92、2C15、	ガン不見				
	25	12:10	①	1,300	1,176	124	0	2C92、2C15、3C29	右M.R.1 ガン 200+α				
Dec.	2	12:30	●	1,253	1,174	79	0	No. 不認 1羽、環ゆるし	ガン不見	約 30 羽			
	8	13:50	①	1,224	1,137	87	0	2C92、2C15.					
	16	11:50	○	644	575	69	0	2015、3C29		83	63	20	
	23		○	236	191	35	0	右M.R.1		0		0	
	30		①	275	238	37	0	右M.R.1、右M.R.2		0			
Jan.	6												
	13		○	24	18	6	0	平和橋下手に 2 A + 4 J。他は公園。		26	10	16	
	20		○	10	4	6	0	流水接岸。開水面僅少。		0			
	27		①	34	23	11	0			0			
Feb.	3		①	98	80	18	0			0			
	10		⊗	109	89	20	0	吹雪。		—	UK	—	
	14		①	149	129	20	0	NHK取材。					
	20		○	160	142	18	0						
	24		⊗	140	124	16	0	首よごれ Ad. 1 羽。					
Mar.	3			162	146	16	0						
	10			233	217	16	0						
	17	08:20	○	270	246	24	0	昨16日夕方かなり飛来す。2C15、2C92、首よごれ2羽未着	30	25	5	0	
	21		○	549	512	37	0	2C15、2C92、左M.R.1、右M.R.2、首よごれ 6	46	36	10	0	
	24		①	578	519	59	0	2C15、2C92、3C29* 左M.R.1、右M.R.2、右M.R.3、首よごれ 6	42	32	10	0	
	27		①					2C15、左M.R.1、右M.R.2、コハク3、首よごれ 15	—				
	31	11:40	①	617	473	144	0	2C15、2C92*	右M.R.2、ガン 8 (初) 首よごれ 12	—			
Apr.	4		①					2C15、	右M.R.2、首よごれ 4	0	融雪水で茶褐色		
	7		○	812	473	64	275	2C15、	右M.R.2、首よごれ 6	54	45	9	0
	14	08:00	○	1,128	546	120	462	左足に緑ブラン環	ウラ毒腺に首よごれ > 180	0	茶褐色		
	17		○	2,518	1,608	252	658	2C57* (14日の左足緑ブラン環のもの)、右M.R.2					
	18	11:50	①	1,750	336	49	1,365	2C57*	右M.R.2	10	7	3	0
	21	11:25	①	934	182	23	729	白鳥公園に 18A + 2 J		0			
	24		○	138	58	13	67	" 0	よごれ 18	0			
	30		○	21	16	5	0	終認。		0			
May.	1	08:20	○	0						0			
								Nov. 5、2C92、3C29、C6 にグリン環付 1 羽。					
								Nov. 3 及び Nov. 5 の O6 のグリン環付 2C39。					

Marked swans in Lake Tofutsu in 1984 Swan's period.

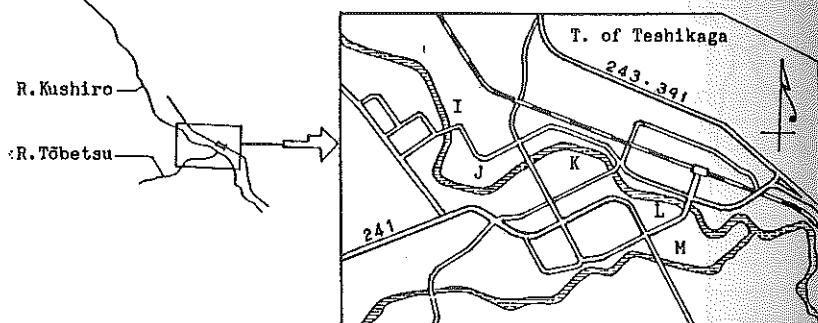
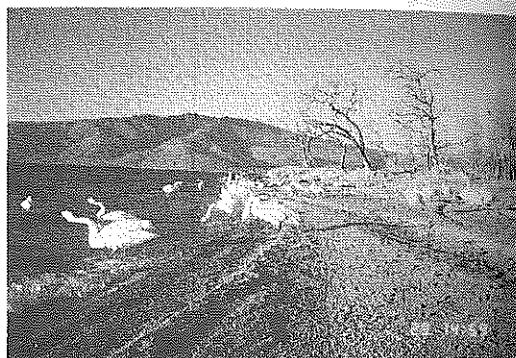
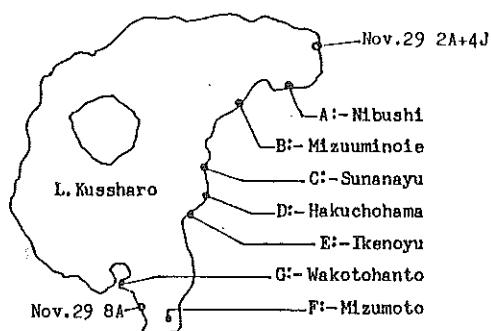


Black patterns on the upper mandible

Observation record in Lake Kussharo and Town of Teshikaga
1984 Swan's period

by

Shigeo Konno, Toshikazu Okamoto and Makoto Tamada



Date		Lake Kussharoko										Town of Teshikaga*							
		A	B	C	D	E	F	G	P	t	T	H	I	J	K	L	M	t	T
Nov. 29	A	14	29	23	12	20	0	23	10	131	165								
	J	3	6	11	1	7	0	2	4	34									
Jan. 6	A	10	173	24	8	48	2	0	15	280	325	5	36	8	13	7	0	69	87
	J	4	20	9	0	10	0	0	2	45		0	3	5	5	5	0	18	
Jan. 20	A	52	463	14	0	60	0	?	0	589	638	11	16	31	18	8	6	91	113
	J	9	20	8	0	12	0	?	0	49		0	3	2	10	5	2	22	
Feb. 10	A	47	290	45	0	57	0	0	0	439	488	0	14	14	16	5	10	59	78
	J	9	15	13	0	12	0	0	0	49		0	3	4	10	0	2	19	
Mar. 24	A	14	112	45	0	27	0	0	0	198	241							0	0
	J	8	15	11	0	9	0	0	0	43								0	

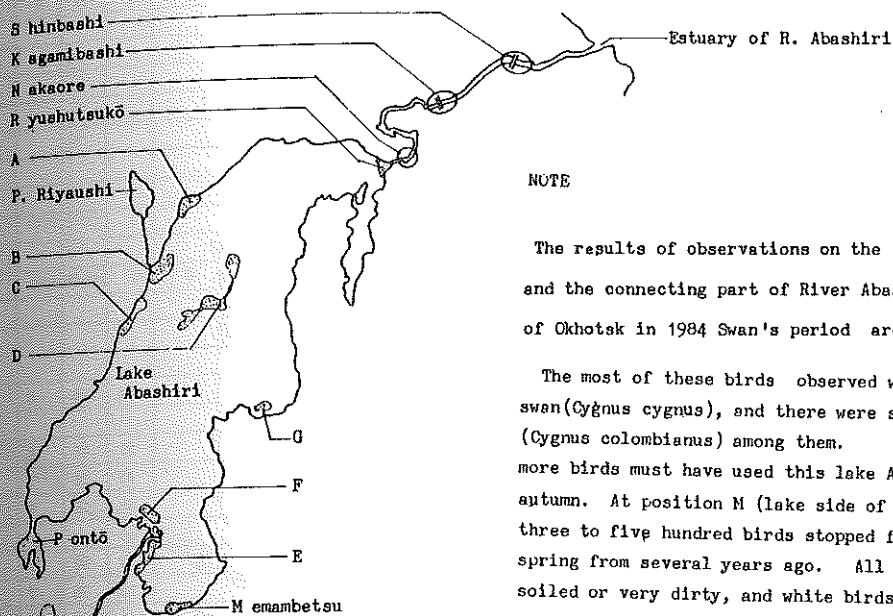
A:- Adult, J:- Juvenile, t:- sub total, T:- Total.

* R. Kushiro and R. Tōbetsu.

Observation record in Lake Abashiri in 1984 Swan's period

by

Shigeo Konno, Toshikazu Okamoto and Makoto Tamada



NOTE

The results of observations on the Lake Abashiri and the connecting part of River Abashiri for Sea of Okhotsk in 1984 Swan's period are as follows.

The most of these birds observed were Whooper swan (*Cygnus cygnus*), and there were some Bewick's (*Cygnus columbianus*) among them. About 500 or more birds must have used this lake Abashiri in autumn. At position M (lake side of Memambetsu), three to five hundred birds stopped for a rest in spring from several years ago. All of them were soiled or very dirty, and white birds are rare.

Date	Lake Abashiri										River Abashiri						
	R	A	B	C	D	P	M	E	F	G	t	T	S	K	N	t	T
Nov. 6	A							133				133	207				
	J							74				74					
Nov. 11	A						5	253	11	18		287	392				
	J						6	76	7	16		105					
Nov. 29	A	6		113			2	194			8	323	442				
	J	8		27			4	77			3	119					
Dec. 16	A				50							50	62				
	J				12							12					
Mar. 21	A	26					90				116	130	10	14	6	30	32
	J	2					12				14		2	0	0	2	
Apr. 4	A						74			30	104	117	5	6	22	33	38
	J						9			4	13		0	3	2	5	
Apr. 14	A					136	153				289	367					0
	J					59	19				78						0
Apr. 18	A					30	172	8			210	251					0
	J					14	27				41						0
Apr. 28	A										0	0					0
	J										0						0

Nov. 11 - C.c.bewickii 9A + 5J.....near the stream of P. Riyaushi.

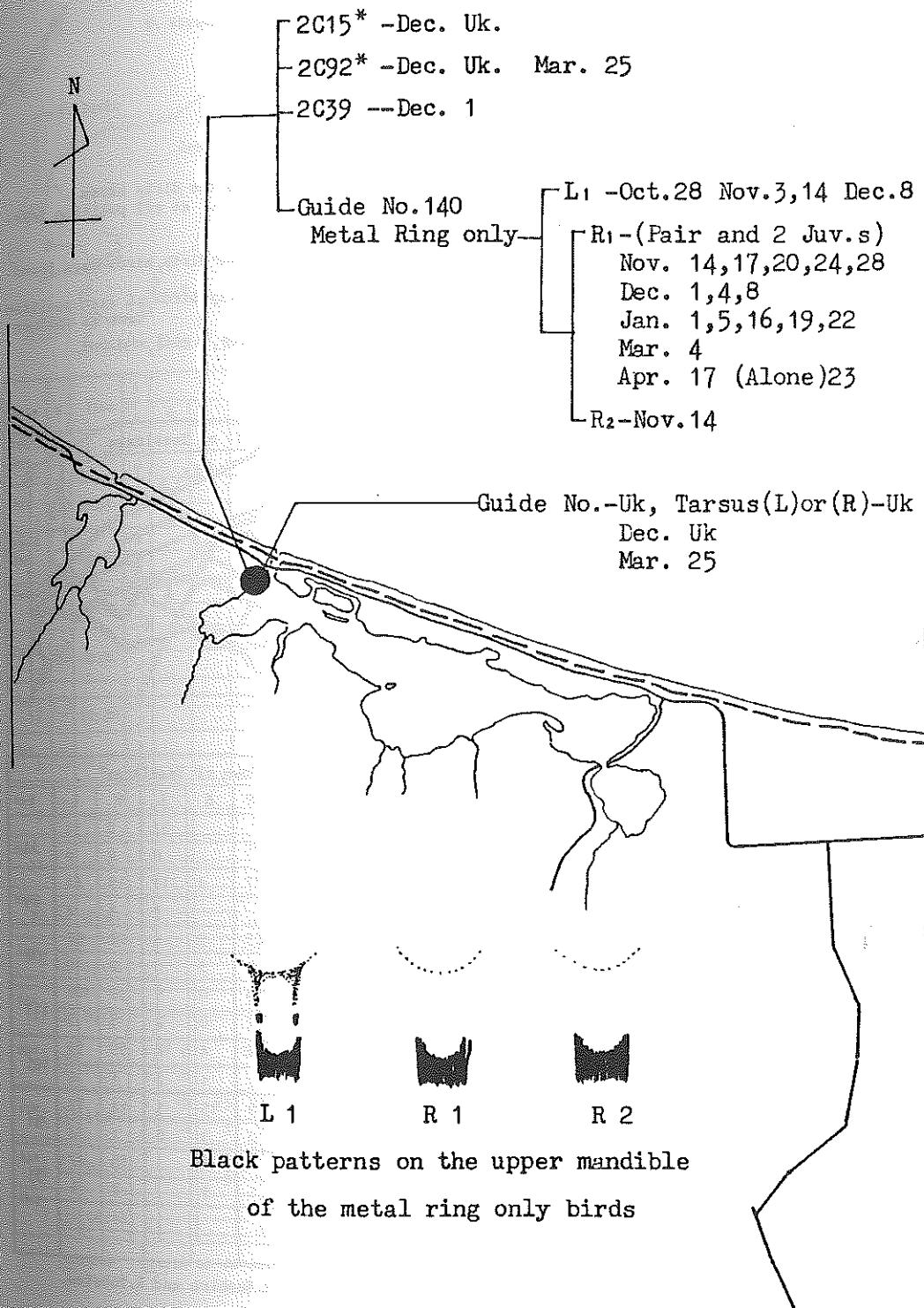
Apr. 4 - 30A + 4J.....in corn field near the P. Ponto.

Mar. 17 - 5A..... near the Shinbashi.

Number of swans counted at Lake Tofutsu in 1985 Swan's period.

Mo.	Day	Tim	We.	Number				Remarks (Marked swan etc.)	L. Mokoto			
				Total	Ad.	Juv.	Uk.		T	A	J	U
Sep.	29	11:30	①	4	4							
Oct.	6	08:30	①	6	6							
	12	10:30	○	70	52	0	18	他に Bewick's 15A、5Jあり				
	17			198	186	12						
	20			1,619	345	34	1,240					
	28	11:00	①	1,712	264	49	1,399	左M.R. ガン347				
Nov.	3	10:30	①	1,889	829	81	979	左M.R. ガン358				
	10	13:30	①	1,658	1,449	209	0	ガン174				
	14	08:30	①	2,374	1,888	195	291	左M.R. 右M.R.(P and 2 Juv.)、右M.R. ₂ 、ガン447				
	17	08:30	○	3,645	3,283	205	157	右M.R.(P and 2 Juv.) 3群62A、12J来着、ガン325、282群あり				
	20	08:30	○	2,774	1,339	187	1,248	右M.R.(P and 2 Juv.) 14:42 ガン252				
	24	08:30	○	2,853	2,736	117	0	右M.R.(P and 2 Juv.) ガン137				
	28	08:30	○	2,772	2,655	117	0	右M.R.(P and 2 Juv.) 湖面60%結氷				
Dec.	1	09:30	○	2,319	2,208	111	0	3 O36. 右M.R.(P and 2 Juv.) 暖かし	24	18	6	0
	4			1,554	1,509	45	0	右M.R.(P and 2 Juv.)				
	8			1,020	984	36	0	左M.R. 右M.R.(P and 2 Juv.)	31	25	6	0
	11			627	601	26	0		35	28	7	0
	15			208	190	18	0		38	31	7	0
	22	09:15		183	176	7	0		0			
	29	09:10	⊗	207	196	11	0		31	24	7	0
Jan.	1	08:20		233	224	7	2	右M.R.(P and 2 Juv.)	32	25	7	0
	5	08:30		206	193	13	0	右M.R.(P and 2 Juv.)	50	45	5	0
	12	08:45	○	162	146	16	0	未確認	44	37	7	0
	16	13:50	①	227	214	13	0	右M.R.(P and 2 Juv.)	43	36	7	0
	19	13:45	○	266	246	20	0	右M.R.(P and 2 Juv.)	0	全面結氷		
	22	10:00	⊗	67	59	8		右M.R.(P and 2 Juv.) 20日全面結氷	0	同上		
	26	09:20	⊗	0				止別川河口に3羽、同上	0	同上		
	29		○	0				寒気厳し。	0			
Feb.	2	13:30	①	65	61	4	0		0			
	10	10:00	⊗	153	147	6	0		10	10	0	0
	17	10:10	○	174	162	12	0		22	19	3	0
	23	10:10	⊗	188	175	13	0		28	25	3	0
Mar.	2	08:30	○	155	147	8	0	寒気厳し。流氷接岸	44	39	5	0
	9	08:30	①	163	154	9	0	北浜付近流氷離岸。頭部のうよごれ1羽	48	43	5	0
	16	12:40	①	214	207	7	0	同上、同上 2羽	4	4	0	0
	23	09:10	①	338	312	26	0	流氷接岸、2 C92#、M.R.、同上 8羽	30	23	7	0
	26	14:15	①	526	505	21	0	(21線E、4号にヒシクイ180羽) 同上 16羽				
	30	07:30	○	868	815	53	0		82	75	7	5
Apr.	7	08:40	○	973	742	37	194	流氷接岸もあり、頭よごれ若干 ヒシクイ 7羽	58	51	7	3
	13	08:40	①	879	667	52	160	同上 21線E、N 3・4間はみ出し 12A・1J、ヒシクイ 309羽	0	•	•	•
	17	08:50	①	1,571	47	2	1,522	流氷片のみ、湖面開水 40%、右M.R. ヒシクイ 420羽	UK			
	20	07:50	①	952	138	5	809	流氷片のみ、湖面開水 100%、他にはみ出し 7A、4J。	0	•	•	•
	23	13:35	○	991		1	990	右M.R.(P and 2 Juv. のもの) 単独… 17日のもの。ガン300羽	0	•	•	•
	25	08:35	⊗	608	5	28	575	21線E、北 3・4 間はみ出し 2A。	UK			
	27	07:55	①	228		5	223	19線E、北 4号にはみ出し 4J。	0	•	•	•
	30	08:00	①	4	4	0	0		UK			
May.	1	07:30	①	0					0	•	•	•

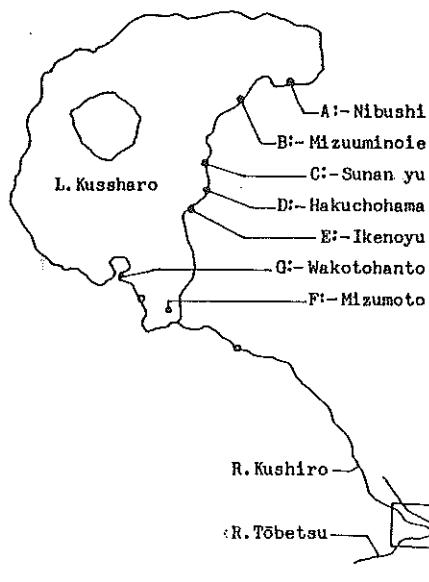
Marked swans in Lake Tofutsu in 1985 Swan's period



Observation record in Lake Kussharo and Town of Teshikaga
1985 Swan's period

by

Shigeo Konno, Toshikazu Okamoto and Makoto Tamada



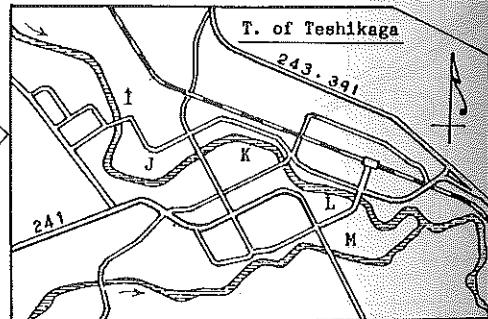
NOTES

Dec. 20 —
Jan. 8 — We could not find the dirty birds
Jan. 25 — at all position Lake,
Feb. 17 —

Mar. 16 — At position F, two dirty birds were found.

Mar. 30 — The numbers of dirty birds at each position
were as follows.

F--4, G--2, J--2, K--4, M--10.

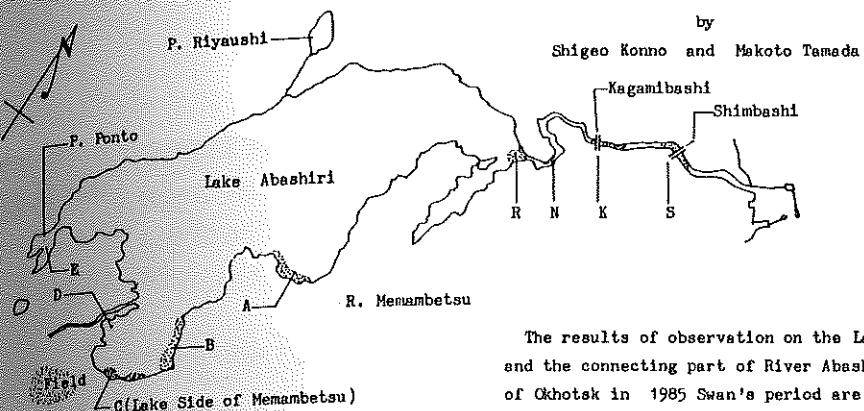


Date		Lake Kussharo										Town of Teshikaga*									
		A	B	C	D	E	F	G	P	t	T	H	I	J	K	L	M	t	T		
Dec. 20	A	83	272	52		67	10	U		484								31	U	31	31
	J	0	10	1		2	2	U		15	499							0	U	0	
Jan. 8	A	66	125	277	0	13	14	19		514				10	17	4	11	19	61	65	
	J	0	7	4	0	2	2	1		16	530							3	1	4	
Jan. 26	A	7	283	71		64	29	2		456				34	23	9	4	22	92	102	
	J	0	7	4		5	3	0		19	475			4	1	3	0	2	10		
Feb. 17	A	13	145	187	0	55	26	0		426				5	53	0	9	39	106	113	
	J	0	1	10	0	5	3	0		19	445			0	2	0	2	3	7		
Mar. 2	A	34	125	127	0	43	18	6		353				0	44	4	12	39	99	105	
	J	1	7	2	0	5	2	1		18	371			0	2	1	2	1	6		
Mar. 16	A	43	51	178	0	59	15	2		348				4	39	15	5	14	77	81	
	J	1	1	12	0	5	2	1		22	370			0	0	3	0	1	4		
Mar. 30	A	16	28	161	0	24	8	7		244				7	5		35	47	53		
	J	0	1	8	0	5	2	1		17	261			1	3		2	6			
	A																				
	J																				

A:- Adult, J:- Juvenile, t:- sub total, T:- Total.

* R. Kushiro and R. Tobetsu.

Observation record in Lake and River Abashiri
1985 Swan's period



The results of observation on the Lake Abashiri and the connecting part of River Abashiri for Sea of Okhotsk in 1985 Swan's period are as follows.

Date	W	Time	A or J	Lake Abashiri							River Abashiri								
				A	B	C	D	E	t	T	Di	Remarks	S	N	R	t	T	Di	Remarks
1985 Oct. 28	(1)	07:15	A		6			6											
			J		0			0		6									
Nov. 3	(1)	10:20	A			4		4											
			J		0			0		4									
1986 Jan. 19	(1)	09:30	A																
			J																
Feb. 2	(1)	08:35	A																
			J																
Feb. 10	(2)	09:30	A																
			J																
Feb. 17	(1)	09:50	A		0			0											
			J		0			0											
Mar. 2	(1)	09:30	A																
			J																
Mar. 9	(1)	10:30	A		45			45											
			J		2			2		47	47								
Mar. 23	(1)	09:35	A		99			99											
			J		5			5		104	53								
Mar. 30	(1)	08:45	A		173			195											
			J		16			23		218	110	In the fields 22A, 7J							
Apr. 7	(1)	09:15	A		197			197											
			J		8			8		205	193								
Apr. 13	(1)	09:30	A		26			46	72										
			J		3			0	3	75	75	In the fields 4A							
Apr. 19	(1)	09:30	A	2	121	2	161	206											
			J	0	9	0	15	24		310	295	Apr. 18x19 3011							
Apr. 25	(1)	13:50	A	19	23	32			74										
			J	0	3	5			8	250	243								
Apr. 27	(1)	08:50	A	12	63	0			75										
			J	3	5	0			83	83									
May 1	(1)	08:10	A		6			6											
			J		0			0		6	5								

Weather

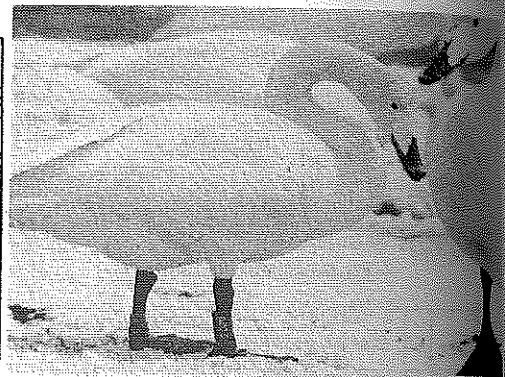
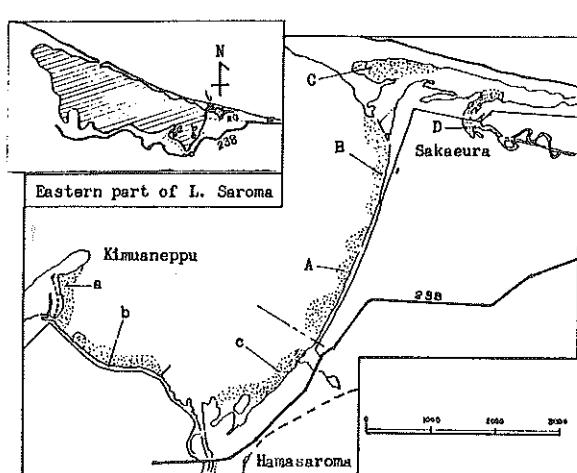
Adult or Juvenile

Soiled or dirty

Soiled or dirty

Observation record in the Eastern part of Lake Saroma
1985 Swan's period

by
Shigeo Konno and Makoto Tamada



C. cygnus, 2C20, banded at Lake Utonai on 20 February 1980 was resighted in front of Saromako Kanko Senta at Kimuaneppu between 11 and 21 in April 1986.

Date	W	Time	A or J	Kimuaneppu								Sakaeura							
				a	b	c		t	T	D	Remarks	a	b	c	d	t	T	D	Remarks
1986 Mar. 9	(1)	11:25	A					0									0		
			J					0	0								0	0	
Mar. 30	(1)	10:20	A		14			14					9	121		85		215	
			J		0			0	14	0			2	5		13		20	235 215
Apr. 7	(1)	10:40	A		3			3						47		28		75	
			J		0			0	3	0				5		9		14	89 70
Apr. 13	(1)	10:50	A	133	33			166			2092*			102		20		122	
			J	9	7			16	182	65	2020* GB.Uk			18		5		23	145 83
Apr. 20	(1)	11:20	A	298	149			447			Cy.co 1	16	130		3		149		
			J	26	23			49	496	218			5	18		0		23	172 125
Apr. 27	(1)	09:50	A	54	48	14		116			2020* 2092*				0		0		
			J	39	12	3		54	17						0		0		
May. 1	(1)	09:20	A	24		3		27											
			J	12		0		12	39	2									

Weather Adult or Juvenile Soiled or dirty